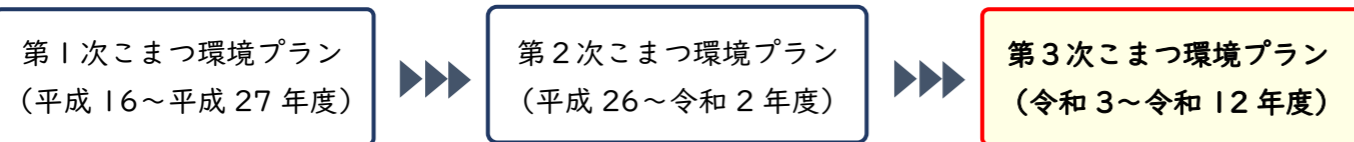


計画の背景・目的

これまでのこまつ環境プランの取り組みを継承しつつ、環境を取り巻く国内外の動向等を踏まえ、今後も豊かな自然と市民の力を両輪に、市民一人ひとりが環境を見つめ直し、知恵を出し合い、良好な環境づくりをさらに目指し、本計画を策定します。

計画の期間

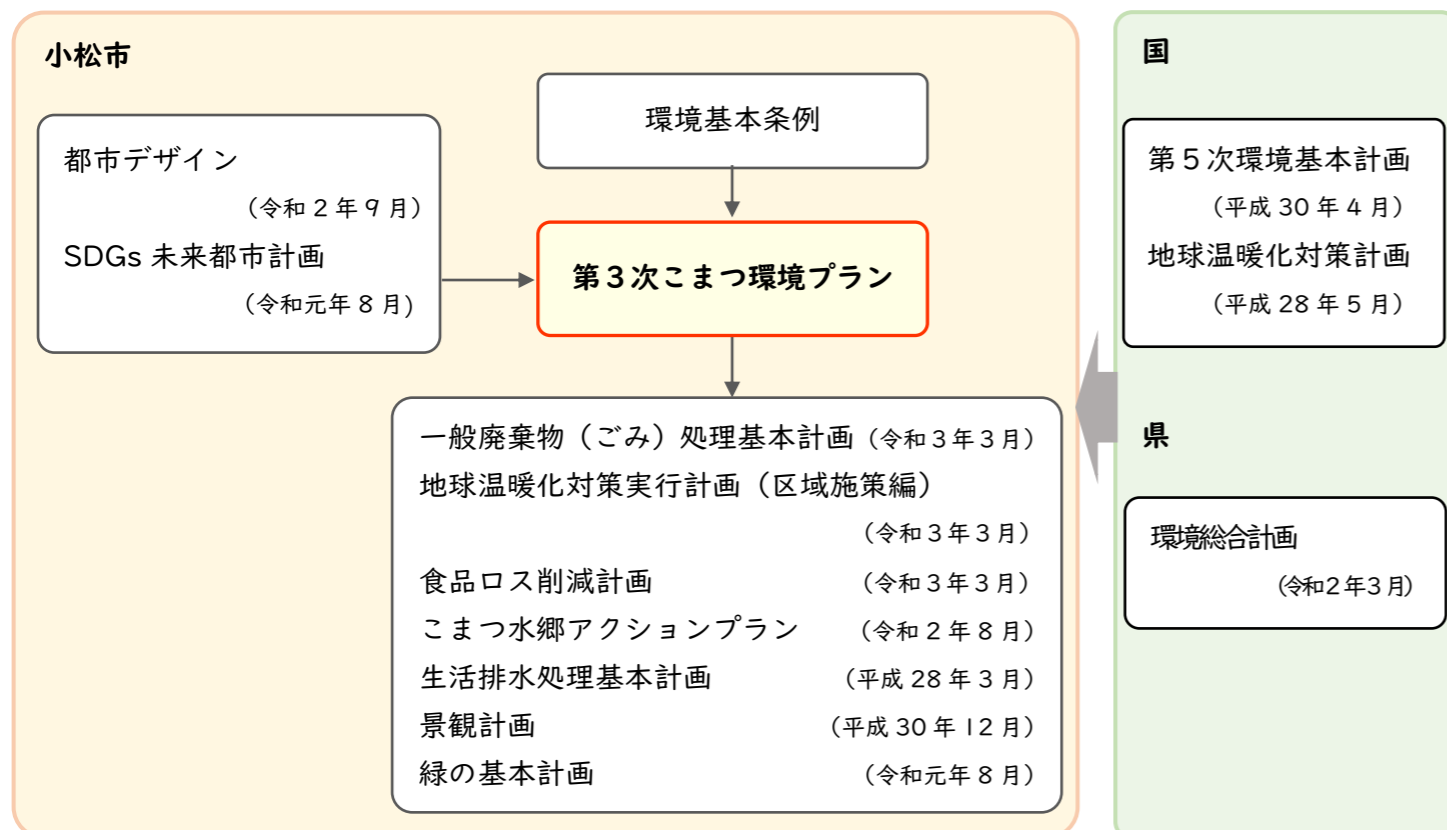
本計画の計画期間は、目標年度を令和12年度までの10年間とします。



計画の位置付け

本計画は、『小松市環境基本条例』に基づき、本市における環境保全に関する最も基本的かつ総合的な計画とします。

国の環境基本計画や県の環境総合計画をはじめ、本市が進めるまちづくり上位計画や環境関連計画との整合を図りながら推進していくものです。



主要施策・プロジェクト

Komatsu Eco Action 2030

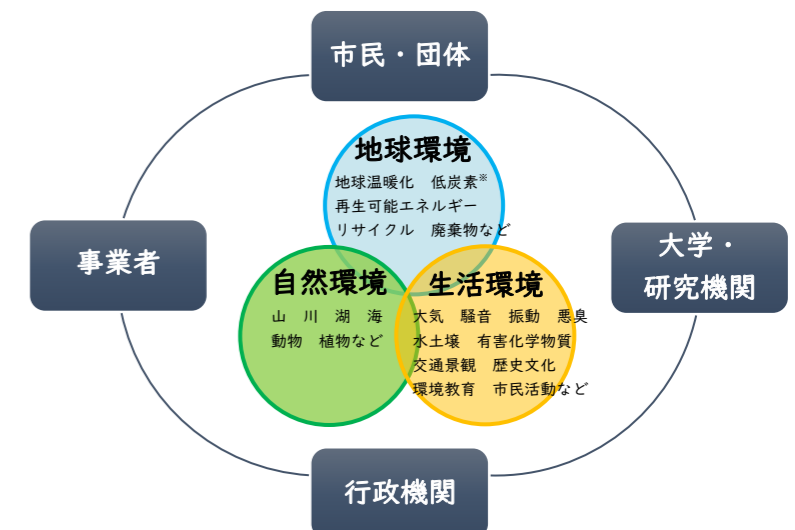
第3次こまつ環境プランでは、令和32（2050）年の未来を見据え、令和12（2030）年までの10年間の主要施策・プロジェクトを「Eco Action 2030」として、パートナーシップのもと推進していきます。

主要テーマ	基本方針
テーマ1 みんなでアクション	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関心を持ち、環境に配慮した行動を行うため、環境学習・環境教育の推進 共創のチカラと地域力で森林再生や水辺クリーン活動、ごみ減量化・リサイクルの推進
テーマ2 地球環境への思いやり	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策のため、再生可能エネルギー等の活用や省エネルギーの推進 次世代エネルギーの利活用と技術開発を支援
テーマ3 健康で豊かな自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> 森林、里山、河川、里海のつながりの回復による多様な生態系の保全 企業や市民の積極的な関わりによる里山地域の再生
テーマ4 循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ゼロエミッションの循環型社会の推進 廃棄物の適正処理や新たな環境マネジメントシステムの推進による健全な社会の構築
テーマ5 美しく快適な生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康を守り、安全・安心で衛生的な生活環境の確保 魅力ある都市環境・農村環境・自然環境へ美しいまちなみや景観の保全

計画の範囲

本計画の対象とする地域は小松市全域です。対象者は、小松市民、市内の事業者、大学・研究機関、市を主体とし、市外からの通勤者や通学者、観光客など市内に訪訪する全ての人です。また、対象とする環境の範囲は、市民の生活や事業者の社会・経済活動に関わる環境要素として右のとおりです。

未来へつなぐパートナーシップ



第3次こまつ環境プランの施策体系

主要テーマ	チャレンジ目標	基本施策
テーマ1 多様なパートナーシップで、 地域づくり・人づくりを 推進します	Challenge① SDGs宣言 500団体	施策1 多様な主体による環境保全活動の促進 施策2 産官学が連携した環境学習・教育の推進 施策3 パートナーシップによる普及啓発活動の推進
テーマ2 CO ₂ 排出が少ない暮らしと 脱炭素社会の実現を 目指します	Challenge② CO ₂ 排出量 50%OFF	施策1 地産地消のエネルギーを有効活用（創エネ） 施策2 進化する技術を活かし環境負荷軽減 施策3 スマートモビリティシステムの導入 施策4 ゼロカーボン型のライフスタイル推進
テーマ3 生物多様性と自然の恵みが 豊かな社会を目指します	Challenge③ 木場湯 Visitors 120万人	施策1 木場湯の再生と水郷空間の創造 施策2 生物多様性の保全と野生生物との共生 施策3 自然資源や歴史文化の活用と価値の創造 施策4 農業の生産性と付加価値の向上
テーマ4 ものを大切に、 ごみができるだけ発生しない 暮らしと社会を目指します	Challenge④ 可燃ごみ減量化率 33%OFF	施策1 7R（発生回避・発生抑制・再使用・修理・改良・返却・再資源化）の推進 施策2 廃棄物の適正処理 施策3 公共施設等の適正な維持管理と有効活用
テーマ5 水や空気、景観が美しい 安全で快適なまちづくりを 目指します	Challenge⑤ フローラルパートナー 3,000団体・個人	施策1 安全・快適な地域の生活環境を保全 施策2 環境を知り・学ぶ地域学習を推進 施策3 美しいまちなみや景観の形成 施策4 災害や感染症など非常時の対応

テーマ1 みんなでアクション



Challenge①	目標値	SDGs宣言500団体	
	現況値	—	
取り組みの方針	●市民、民間団体、事業者、行政の連携によってこまつ環境プランの施策を展開します。 ●小松市SDGs未来都市計画の（環境）ゴール、ターゲットを目指します。 ●SDGs出前講座によって広報活動を進めます。		
	サブ目標	目標値	現況値（R元年度）
	① わがまち美化ピカ隊数	300隊	273隊
② SDGs出前講座（累計）	200件	—	
③ 環境王国こまつ交流人口	75万人	64万人	

施策1 多様な主体による環境保全活動の促進

- 省エネやエコ活動の実践
- 新たな環境ビジネスや技術開発の展開
- 自然環境保全や体験活動への参加促進



夏の親子水棲生物調査
（大杉谷川をよみがえらせる会）

市民・団体

- 環境問題への関心・理解
- 省資源・省エネ、リサイクルに配慮したライフスタイル※の実践
- 自然環境保全・体験活動への参加
- 環境保全活動の取り組み等

事業者

- 公害の防止・廃棄物の適正処理
- 省資源・省エネの実践
- 環境負荷※の少ない商品・サービスの提供
- 環境活動への取り組み等
- 環境負荷※低減のための技術開発・導入

協力・連携

大学・研究機関

- 環境保全等調査研究
- 環境負荷※低減のための技術開発研究
- 専門的知見を活かした指導・助言
- 環境アドバイザー派遣等

行政機関

- 環境政策・施策の計画及び事業推進
- 環境法令の遵守、規範となる環境活動
- 市民、事業者、大学等との協力・連携
- 環境関連の情報発信・制度づくり
- 市民、事業者等への活動支援等

施策2 産官学が連携した環境学習・教育の推進

- 環境保全活動を支える人材の育成・確保
- 大学・研究機関等による調査研究や指導・助言
- 環境教育プログラムの一層の推進

木場湯ホテル観察
（木場湯公園協会）



施策3 パートナーシップによる普及啓発活動の推進

- 共創によるSDGsの達成への貢献
- 市民・事業者・大学・行政等とのネットワークの強化
- 環境保全の情報発信・活動支援

スマイル木場湯（第66回全国植樹祭）



テーマ2 地球環境への思いやり



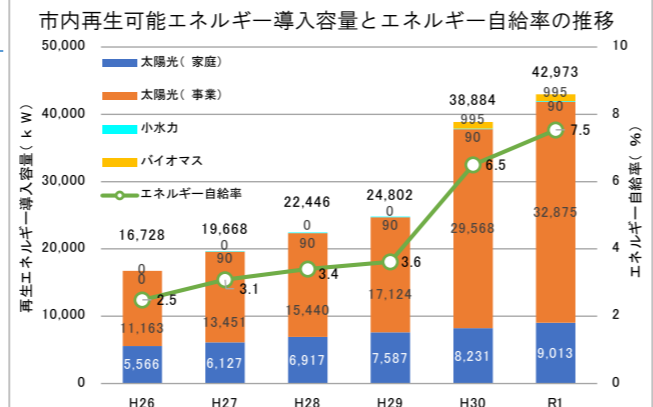
Challenge②	目標値	CO ₂ 排出量 50%OFF
	現況値	平成 30 年度暫定値 △17.0% (令和 2 年度△32.0%)

- 取り組みの方針
- 「令和 32 (2050) 年二酸化炭素排出実質ゼロ」の脱炭素社会の構築に向け、オール小松で地球温暖化対策を推進します。令和 12 (2030) 年までに CO₂ 排出量 50%削減 (平成 25 年度比) を目指します。
 - 徹底した省エネルギーを進め、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入や水素などの次世代エネルギーの利活用推進に取り組みます。
 - 気候変動の影響への適応策を推進します。

サブ目標項目	目標値	現況値 (R 元年度)
① エネルギー自給率	12%	7.5%
② 低公害車 (電動車 xEV) 保有率	40%	12.0%
③ バイオマス設備の設置補助	140 件	64 件
④ 木質バイオマスチップ出荷量	8,000+	5,643+
⑤ 人口あたり上水道使用量	8%OFF	△3.9%

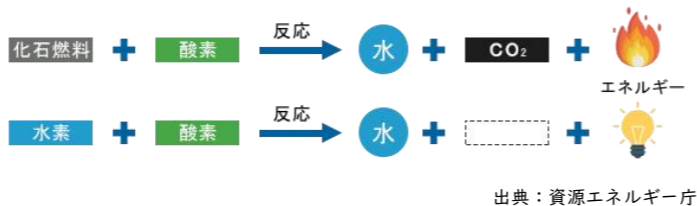
施策1 地産地消のエネルギーを有効活用 (創エネ)

- 取組① 再生可能エネルギーの利用拡大 (太陽光、バイオマス、小水力など)
- 取組② エコロジーパークで創エネルギー拡大 (焼却熱で発電)



施策2 進化する技術を活かし環境負荷軽減

- 取組① エネルギーを賢く使うスマートグリッド普及
- 取組② 水素などの次世代エネルギーの利活用推進
- 取組③ 環境・エネルギー産業の設備投資等への支援



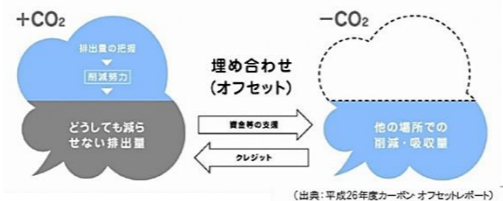
施策3 スマートモビリティシステムの導入

- 取組① 次世代モビリティの開発や普及促進
- 取組② カーシェア、コミュニティサイクルの活用



施策4 ゼロカーボン型のライフスタイル推進

- 取組① カーボン・オフセット認証商品の購入・利用
- 取組② 省エネ住宅・建築物の普及や屋上・壁面緑化の推進
- 取組③ 気候変動の影響に関する情報提供・注意喚起



テーマ3 健康で豊かな自然との共生



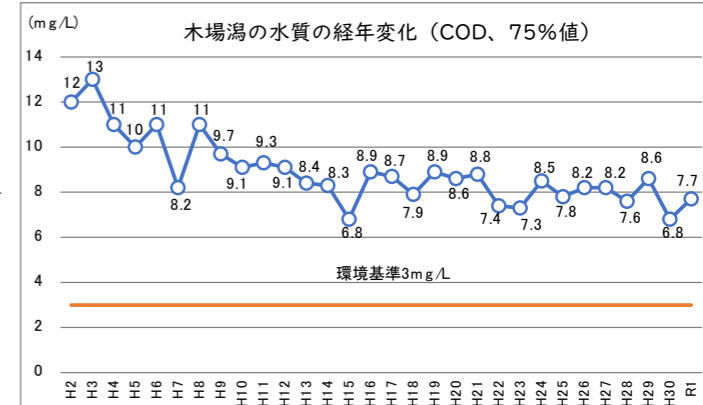
Challenge③	目標値	木場潟 Visitors 120 万人
	現況値	令和元年度 78.7 万人

- 取り組みの方針
- 木場潟の再生や水辺環境の保全、森林や里山の適正な管理と生物多様性の保全に取り組み、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいきます。
 - 環境王国こまつの歴史文化や景観、食文化を楽しむライフスタイルを普及し、自然の魅力に触れながら守り育てる意識を広めます。
 - 健康な里山を創造し、希少生物の保護や野生動物との共生 (生物多様性の保全) への対応を推進します。

サブ目標項目	目標値	現況値 (R 元年度)
① 木場潟 COD (75%値)	5.0±1 mg/l	7.7mg/l
② 生態系回復数	累計 15 種	累計 3 種
③ 五感指標水辺調査	好感度 80%	好感度 52.5%
④ 担い手への農業集積率	85%	78%
⑤ 酒米作付面積	25ha	11ha

施策1 木場潟の再生と水郷空間の創造

- 取組① 木場潟の水質浄化を官民連携で推進
- 取組② 木場潟の環境調査、環境学習の推進
- 取組③ 水辺クリーンデーなど景観美化活動の推進



施策2 生物多様性の保全と野生生物との共生

- 取組① 企業の森づくりなどCSR活動拡大
- 取組② 里山・水辺空間の管理で希少な生物を保全
- 取組③ 野生生物との共生、特定外来生物対策の推進



施策3 自然資源や歴史文化の活用と価値の創造

- 取組① 間伐材の有効活用とビジネス創出
- 取組② 歴史・文化遺産や体験コンテンツの発掘



施策4 農業の生産性と付加価値の向上

- 取組① 農業のブランド化推進と特産品の開発 (特別栽培米や酒米の生産拡大、体験農園)
- 取組② 農作物の6次産業化の推進



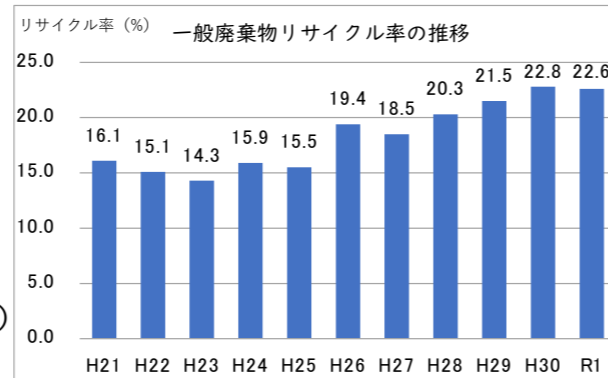
テーマ4 循環型社会の形成



Challenge④	目標値	可燃ごみ減量化率 33%OFF
	現況値	令和元年度 △19.9% (令和3年度 △22.3%)
取り組みの方針	●循環型社会の形成のため、全ての主体が廃棄物の7Rを意識した行動を実践する環境づくりを推進します。	
	●プラスチックの海洋流出や食品ロス・食品廃棄物の発生抑制や地域での有効活用を推進します。	
	●災害廃棄物への対応や公共施設等の長寿命化、有効活用に取り組みます。	
サブ目標項目		
① 一般廃棄物リサイクル率	目標値 30%	現況値 (R元年度) 22.6%
② 可燃ごみのプラスチック混入率	目標値 5%	現況値 (R元年度) 9.6%
③ コンポスト等の補助件数(累計)	目標値 2,500件	現況値 (R元年度) 1,930件
④ わがまち美化ピカ隊数	目標値 300隊	現況値 (R元年度) 273隊

施策1 7R(発生回避・発生抑制・再使用・修理・改良・返却・再資源化)の推進

- 取組① 家庭・企業・地域での7R活動運動(環境教育・普及啓発や環境配慮経営)
- 取組② 企業や地域のリサイクルステーションの拡大
- 取組③ 使い捨てプラスチックの削減・分別の徹底(容器包装のリユース・リサイクル)
- 取組④ 食品ロス・食品廃棄物への対応(フードドライブ・フードバンクの支援と拠点設置)



施策2 廃棄物の適正処理

- 取組① ばい捨てゼロ・マナーアップ運動の推進
- 取組② 不法投棄の防止
- 取組③ 災害に伴って発生する廃棄物への対応

年度	件数
H23	96
H24	89
H25	76
H26	90
H27	70
H28	50
H29	40
H30	57
R1	83



小松市職員が派遣された災害廃棄物仮置き場の状況(長野県佐久市)

施策3 公共施設等の適正な維持管理と有効活用

- 取組① 公共施設の長寿命化・新たな環境マネジメントシステムを推進
- 取組② 遊休施設や旧ごみ焼却施設の有効活用



小松市役所

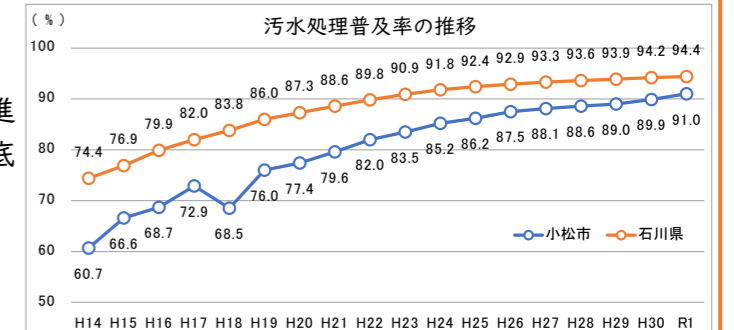
テーマ5 美しく快適な生活環境



Challenge⑤	目標値	フローラルパートナー3,000 団体・個人
	現況値	令和元年度 1,475 団体・個人
取り組みの方針	●安全で良好な生活環境の確保のため、大気や水環境など良好な環境の維持、改善、環境悪化の未然防止に取り組みます。	
	●花や緑を介して、環境に関する情報発信や学習機会を作り、市民や事業者と一体となって、住み慣れた美しい地域を守り育てる文化を広めます。	
	●災害や感染症など非常時の対応を推進します。	
サブ目標項目		
① 環境王国こまつ交流人口【再掲】	目標値 75万人	現況値 (R元年度) 64万人
② 里山・里海拠点施設指定数	目標値 20施設	現況値 (R元年度) 16施設
③ SDGs出前講座(累計)【再掲】	目標値 200件	現況値 (R元年度) (一)
④ 海浜エリア植林数	目標値 10,000本	現況値 (R元年度) 5,900本

施策1 安全・快適な地域の生活環境を保全

- 取組① 車からの環境負荷軽減や生活排水対策の推進
- 取組② 騒音・振動など環境監視や発生源対策を徹底



施策2 環境を知り・学ぶ地域学習を推進

- 取組① 里山自然学校などでの塾活動を推進
- 取組② 子どもたちへの環境教育を推進(施設見学や自然体験学習、副読本の制作)
- 取組③ 市民団体等とともに環境リーダーを育成



前川・石橋川生物、水質調査(前川リバーパーク推進協議会)



稚拙体験放流(大杉谷川漁業協同組合)

施策3 美しいまちなみや景観の形成

- 取組① 自然景観・農村景観の保全と創造(フローラル活動や屋外広告物デザイン向上)
- 取組② 歴史的・文化的資源の保全と活用(文化財・古民家等の保全活用のマッチング)



江戸古民家(下里家)

施策4 災害や感染症など非常時の対応

- 取組① 健康被害の予防
- 取組② 新しい生活様式やデジタルシフトを実践

